

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 6月 22日

大分市長 佐藤 樹一郎 殿

提出者

住所 大分市大字松岡3500番地

氏名

株式会社ジャパンセミコンダクター
大分事業所長 仮屋園 展史

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

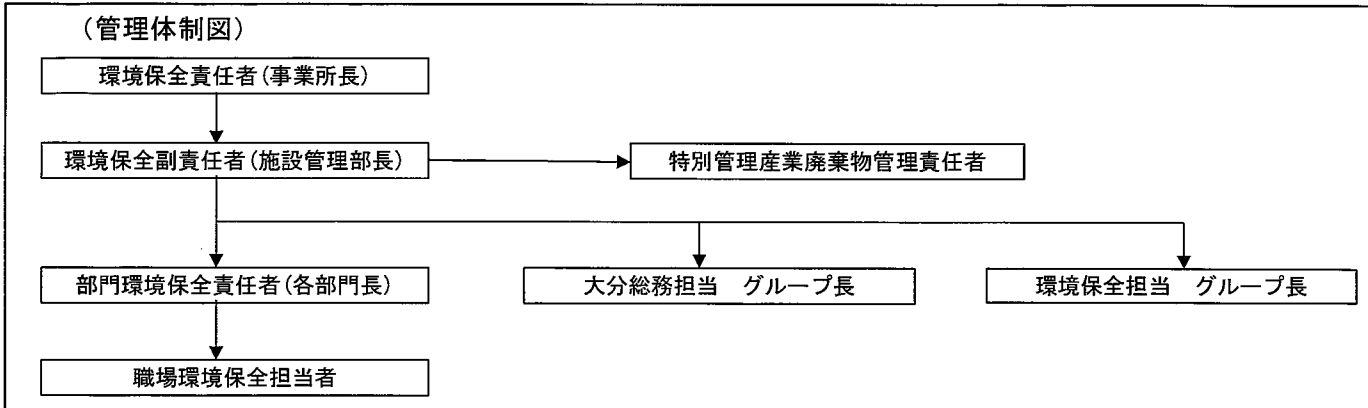
電話番号 097-524-6075

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ジャパンセミコンダクター 大分事業所
事業場の所在地	大分市大字松岡3500番地
計画期間	令和 4年4月1日～令和 5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	電子部品・デバイス・電子回路製造業 2814
②事業の規模	生産数量 4万9千ヶH-/月
③従業員数	1203人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	図1の通り



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り
	排出量	別紙1の通り
	(これまでに実施した取組) ・薬品のライフアップ, 工程削減 ・リデュースによる物品購入抑制等	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り
	排出量	別紙1の通り
	(今後実施する予定の取組) ・発生抑制を考慮した製造方法の検討 ・薬液使用量適正化による汚泥削減検討 ・廃棄物の構内排水処理の可否検討及び廃溶剤の有価値化検討	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生部門で分別し中央集積所へ搬入。中央集積所で分別保管、搬出する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底を図るとともに分別内容を見直し有効利用・有価売却を検討していく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—
	（これまでに実施した取組） なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—
	（今後実施する予定の取組） なし	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—
（これまでに実施した取組） なし		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—
（今後実施する予定の取組） なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋め立て処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—
	（これまでに実施した取組） なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋め立て処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—
	（今後実施する予定の取組） なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

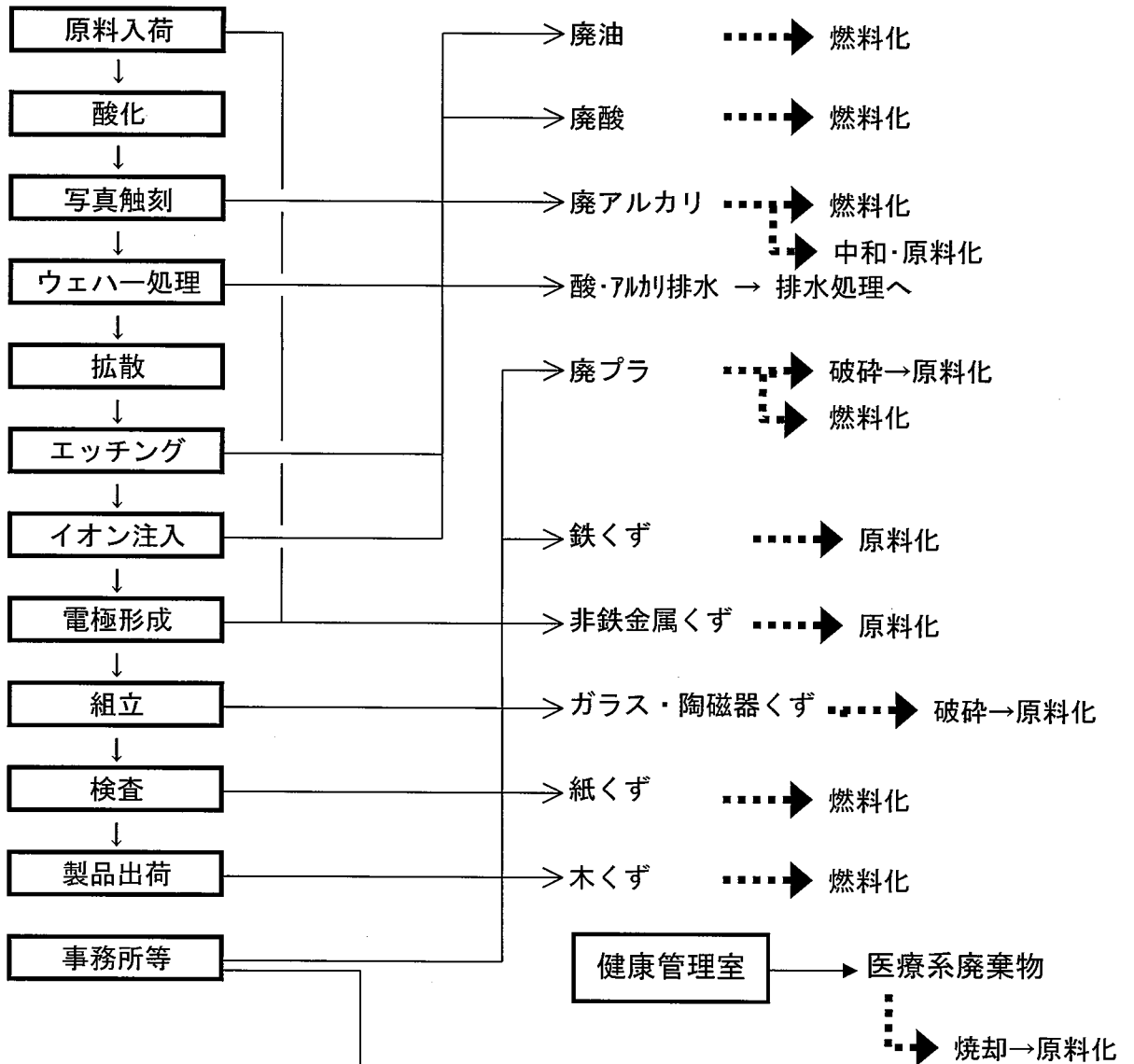
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り
	全処理委託量	別紙1の通り
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙1の通り
	再生利用業者への処理委託量	別紙1の通り
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙1の通り
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙1の通り
	（これまでに実施した取組） 中間処理業者の現地確認（処理状況・維持管理状況・周辺状況等）を定期的実施。	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り
	全処理委託量	別紙1の通り
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙1の通り
	再生利用業者への処理委託量	別紙1の通り
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙1の通り
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙1の通り
	(今後実施する予定の取組)	
サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルへの変更を検討。		
※事務処理欄		

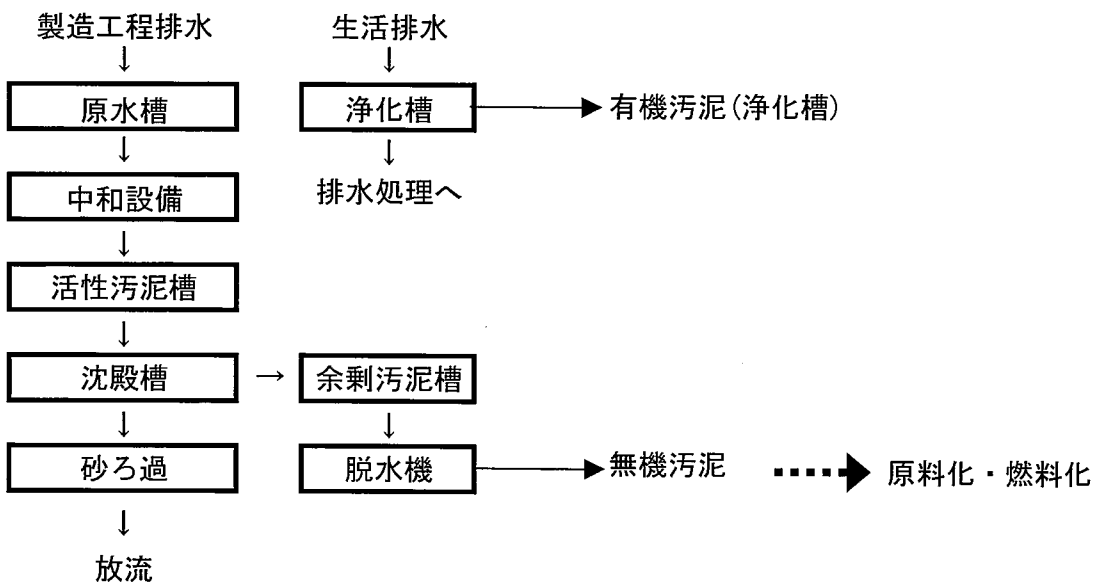
図1
(様式第二号の八及び十三)

廃棄物発生工程，事業場内処理フロー

超 L S I 製造工



排水処理工



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。